

藤 枝 市

議会だより

Vol.
235

ふじえだ市議会だより
令和 7 年 8 月 号



農業委員会との意見交換会



朝比奈地域の出穂



青葉ひよこ保育園の田植え

トピック

- P 2.....議会人事
- P 4.....6月議会議案審議結果
- P 5.....政務活動費
- P 6.....一般質問
- P12常任委員会審査報告



藤枝市議会ホームページ

市議会定例会開会議会市議会役職決定

市議会定例会開会議会が、5月16日に開催され、会期を令和8年4月27日までの347日間としたほか、常任委員会及び議会運営委員会の委員の選任及び正副委員長との互選、一部事務組合議員の選挙等が行われました。そのほかの委員会の構成・役職などは次のとおりです。

(以下敬称略)

◆健康福祉教育委員会

委員長 山川智己
副委員長 山本信行
委員

川島美希子・神戸好伸・油井和行
遠藤久仁雄・岡村好男

◆建設経済環境委員会

委員長 石井通春
副委員長 植田裕明
委員

池田 博・大石心平・薮崎正幸
八木 勝・平井 登

議会運営委員会

議会の円滑な運営のために協議し、意見調整を図ります。

委員長 植田裕明
副委員長 大石保幸
委員

川島美希子・山川智己・深津寧子
石井通春・増田克彦・油井和行
平井 登

常任委員会

議案・請願などの審査を行います。

◆総務委員会

委員長 深津寧子
副委員長 大石保幸
委員

さとうまりこ・寺田亜記子
増田克彦・多田 晃・山根 一

◆決算常任委員会

委員長 油井和行
副委員長 さとうまりこ
委員

川島美希子・池田 博・大石心平
薮崎正幸・深津寧子・増田克彦
平井 登・遠藤久仁雄・大石保幸

第6次総合計画後期計画特別委員会

委員長 油井和行
副委員長 石井通春
委員

薮崎正幸・山川智己・深津寧子
増田克彦・八木 勝・平井 登
大石保幸

議会改革特別委員会

委員長 大石保幸
副委員長 山川智己
委員

川島美希子・大石心平
石井通春・八木 勝・油井和行
遠藤久仁雄

市議会広報広聴委員会

委員長 大石心平
副委員長 さとうまりこ
委員

寺田亜記子・川島美希子
薮崎正幸・深津寧子・大石保幸

市議会倫理委員会

委員長 植田裕明
副委員長 油井和行
委員

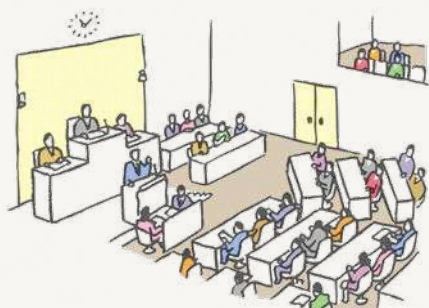
さとうまりこ・大石心平・平井 登
遠藤久仁雄・大石保幸

駿遠学園管理組合議会

議員
山川智己・山本信行

志太広域事務組合議会

議員
深津寧子・石井通春・増田克彦
八木 勝・神戸好伸・多田 晃
平井 登・山本信行





正・副議長 あいさつ



65代
多田 晃 議長

この度、市議会議長に就任いたしました多田晃でございます。身の引き締まる思いとともに、その重責を痛感しております。現在、本市では新学校給食センターの整備や（仮称）クリーンセンター建設工事など、市民生活に直結する重要な課題が山積しており、市政運営の厳しさをひしひしと感じております。これらの課題解決には、多岐にわたるご意見を真摯に受け止め、市民の皆様の負託に応えるべく、公正かつ開かれた議会運営に誠心誠意努めてまいります。

喫緊の課題解決はもちろん、誰もが安心して暮らせる、より良い市政の発展に全力を尽くすため、和衷協同の精神で邁進していく所存です。常に市民目線を忘れず、迅速かつ的確な判断を下せるよう、議会として最大限の努力を重ねてまいります。



72代
神戸 好伸 副議長

急速に進む少子高齢化社会への対応として、若い世代が「このまちで暮らし、働き、子どもを育てたい」と思える環境を整える必要があります。そのためには、企業誘致や地元産業の活性化を積極的に行うこと、また、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築や、誰もが安心して暮らせる福祉政策の強化も喫緊の課題です。

よく言われますが、議会と行政が車の両輪としてしっかりと連携しながら、現場の声を反映した市民目線の政策を推進し、皆様と一緒に「幸せになるまち 藤枝づくり」を考えていきたいと考えます。

Long Service
Award

永年勤続
表彰

市議会議員として市政の振興に尽力されたことに対し、
全国市議会議長会表彰規程により次の方が表彰されました。

議員表彰 **一般表彰**（議員在籍15年以上）

石井 通春 議員



（仮称）クリーンセンター工事現場を視察しました

- ・令和7年7月11日（金） 9時30分～10時30分
- ・（仮称）クリーンセンター整備事業

（仮称）クリーンセンター工場棟の建築本體工事に加え、本年1月より、ストーカ式燃焼装置などを据え付けるプラント工事が進んでいる現場を視察しました。

供用開始は、令和9年1月1日を予定しています。



令和7年6月定例月議会の概要 日程：6月2日～6月25日（24日間）

令和7年6月定例月議会で審議した市長提出議案10件について、全議案とも原案どおり可決・適当とされました。

※各議案については、市ホームページをご覧ください。



第49号～56号議案

市長提出議案（第49号議案～56号議案、諮問第1～2号）



・予算案件	1件
・条例案件	5件
・その他案件	2件
・人事案件	2件

人事案件

次の人事案件について適当としました。・諮問第1～2号 人権擁護委員 百津 行雄さん（清里二）
杉井 学さん（藤枝一）

pick up!

6月定例月議会補正予算 第49号議案②

◆市公式LINE公式アカウントを活用したデジタルクーポンによる市民生活の支援——1億6,530万円

物価高騰による市民生活への影響を緩和するとともに、市内経済の活性化を図る

- ・対象者：市LINE公式アカウントを友だち登録している市民
- ・割引内容：税込1,000円以上で使える500円分のクーポンを
各期間1人あたり4枚（2,000円分）ずつ配布／1人最大12枚（6,000円分）
- ・実施期間：第1弾 8/29(金)～9/7(日) 10日間 第2弾 9/12(金)～9/21(日) 10日間
第3弾 9/26(金)～10/5(日) 10日間
各実施期間上限5,000万円

市の公式ラインは
こちら



クーポン配布は
8/25(月)から

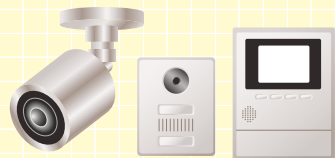
◆犯罪抑止に有効な防犯機器の設置を支援——

500万円

空き巣等を未然に防止するための各家庭における防犯対策の推進

- ・補助対象機器：①録画機能付きドアホン（新築の初期設備として設置した場合は対象外）
②録画機能付き屋外用防犯カメラ
- ・補助対象経費：①②及び付属品購入費、設置費（撤去費含む）
- ・補助率：補助対象経費を合算した額の1/2を補助（上限2万円）

※申請は1回限り



藤枝小学校6年生が議場へ社会科見学に来てくれました！

- ・令和7年5月29日(木)
9時30分～11時00分（1クラス30分）
- ・参加児童数：79名

議員からの説明を聞き、市議会の役割や議会の流れなどを学びました。

質疑応答では「議員の仕事で大変だったこと」など多くの質問がありました。

これまでにない
経験をさせてもらって
うれしかったし
大人になったら投票
したいと思った。



議場のイスに
座らせてもらって
楽しかった。



令和6年度 政務活動費科目別支出内訳

令和6年度政務活動費はこうに使われました

政務活動費とは、地方自治法の規定に基づき条例で定められており、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として、会派及び会派に所属していない議員に対し交付される費用です。

藤枝市議会の政務活動費は1人あたり年額300,000円が年度当初に一括して各会派等に交付され、政務活動費の残額は市に返還しています。

詳しくは、
下記の二次元コードを
読み込んでください。

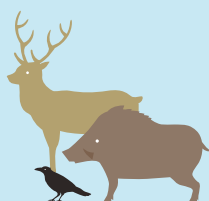


(単位：円)

	藤新会	藤のまち未来	日本共産党	公明党	池田博議員	山根一議員	計
交付額	2,404,944	2,163,123	600,000	600,000	300,000	295,056	6,363,123
調査研究費	848,086	995,957		289,228		74,361	2,207,632
研修費	19,800	105,550	35,000				160,350
広報費	524,188	631,636	373,480		60,500		1,589,804
広聴費			6,300				6,300
要請・陳情活動費							0
会議費							0
資料作成費		42,700	33,500	12,310	1,610		90,120
資料購入費	50,314	11,160	13,538	116,436	63,800	3,850	259,098
人件費							0
事務所費	376,505	321,636	136,629	123,339	9,932	13,994	982,035
小計	1,818,893	2,108,639	598,447	541,313	135,842	92,205	5,295,339
返納額	586,051	54,484	1,553	58,687	164,158	202,851	1,067,784
実績交付額	1,818,893	2,108,639	598,447	541,313	135,842	92,205	5,295,339

農業委員会との意見交換会を開催

- ・ 令和7年4月17日(木)
15時30分～16時30分
- ・ 市役所大会議室
- ・ 参加者：26名（農業委員）



当日は建設経済環境委員会にて視察をした岩手県花巻市の取組について議員から紹介した後、2グループに分かれて、担い手不足や鳥獣被害などについての意見交換を行いました。



青地ばかりのところで
も住宅が建て
られる見直しをし
てほしい

若者が参入しにく
い現状を改善する
必要がある



一般質問

6月定例会月議会の一般質問は、
6月10日(火)、11日(水)、12日(木)の
3日間にわたり行われました。

- 議員が市の一般事業に対して、執行状況や将来の方針をただしたり、政策的な提言を行います。質問は1議員50分以内です。
- 一般質問コーナーの掲載記事は、発言議員本人からの寄稿によるものです。
- 市ホームページで議会録画映像の配信や「会議録の検索」により一般質問など本会議の詳しい内容も、ご覧になれます。



インターネット議会中継

会議録検索システム

水道料金の値上げを防いで、市民のための水道事業を



日本共産党
さとうまりこ 議員



問 本市の上水道用水は、全量地下水で賄えるのに、大井川広域水道企業団※（企業団と略）から、長島ダムからとされる水を、年4億円も買っている。企業団から水を買いはじめて37年たつが、受水のためにかかった費用は。

答 受水費約155億円、建設負担金約44億円。（総額約200億円）

問 市は、この水は緊急時対策のためというが、企業団の配管は耐震性能震度5。耐震工事完了は30年後。ダムの維持費や設備の耐震化のために試算すると、これから先50年で100億円以上の負担となるが間違いないか。

答 100億円以上になる。

問 市民が支払う水道料金は年間約20億円。このうち、4億円を企業団への支払いに充ててもなお平均で毎年5億円の黒字。企業団から水を買わなければ、水道料金値下げは可能ではないか。

答 水道事業の持続可能な経営のために慎重な検討が必要。

※大井川広域水道企業団 上水道

用水供給のための一部事務組合。

大井川流域の7市で構成。水源

は長島ダムとされている。



議員のひょうご

長島ダムの水は本当に必要が見直しを

高まる陶芸村構想への期待と歴史資源の利活用



藤のまち未来
平井 登 議員



問 世界最高水準の芸術教育と伝統文化の継承や新しい芸術表現の創造を推進されている東京芸術大学と連携するに至った経緯と交流状況を伺う。

答 本市が、陶芸・アートの分野で地位を確立するためには、著名な陶芸産地との競合ではなく、「新たな創作」をコンセプトに、その志向性を持つ若手アーティストを応援するとともに文化交流人口を増やし、地域振興を図ることとした。

先般、同大の教授等が来藤し、本市の中山間地域が、「新しい創作の地」として必要な潜在力や地域資源を有するかを確認するため、郷土博物館、助宗古窯群、陶土の採取可能な土地、茶生産者等を訪問、十分な可能性が見込まれるとの判断を受け、連携に向けた調整段階にある。

問 陶芸村構想の根拠にありながら、市民にあまり知られていない助宗古窯の歴史的価値と、古窯の復元整備による回遊拠点の創出について伺う。

答 奈良・平安時代の遺跡「助宗古窯」は、志太郡衙でも使われた須恵器の生産地として注目された。また、約100基の窯跡が確認されており、この地が駿河国における一大生産地であることが判明。さらに、令和4年度の発掘調査により、古代の窯の構造も明らかとなった。

古窯の復元は、地域活性化や次世代への継承という観点から意義深いことであり、東京芸大教授も助宗特有の土に強い関心を示している。今後、地域の方々や専門家、陶芸家、教育関係者と魅力ある取組に繋がるよう検討する。



藤新会
油井 和行 議員



小中学校のいじめ問題について

問 小学校で低学年のいじめ件数が多い中で、本市が取組む幼保こ小連携が、いじめの早期発見・抑止につながればと期待する。低年齢化するいじめ問題の解消に向けた取組について伺う。

答 本市でも小学校の低学年のいじめ認知件数が全国同様に多い傾向に大変憂慮している。

「藤枝市架け橋プログラム」の手引書である「ふじえだ かけはしBook」に基づき、幼児教育と小学校教育の担当者が架け橋期の教育活動をよりよく理解し、5歳児から小学1年生の力リキラムを一体的に捉えることにより、それぞれの教育方法や子ども理解が一層充実したものになることが期待できる。

各園、各小学校の先生方の連携が深まり、いじめをはじめとした様々な課題に向き合い、いじめの未然防止にもつながると期待している。

子どもの命と心に関わる極めて重要な問題であるいじめ問題に、決して妥協することなく、教職員、保護者、地域住民の皆様と一体となって取り組んでいく。

問 中学生の心のケアと再発防止未然防止について

答 各小中学校で策定している「学校いじめ防止基本方針」に沿って、子どもたちの心に寄り添う対応をしている。

全小中学校で実施している「ピア・サポート活動」や道徳などの授業で「人間関係づくりプログラム」を実施し、誰とでも分け隔てなく接することができるよう人間関係作りに努めている。



藤新会
深津 寧子 議員



埋設インフラの予防保全と有事対応の現状と課題について

問 上下水道管の老朽化にどう対応しているか？

答 老朽化の進む管路の状況を把握し、更新の優先順序を定めて計画的に整備している。

問 事故発生時の初動体制と関係機関との連携は？

答 建設業者と連携し、二十四時間三百六十五日対応できる体制を整えている。

問 予防保全の実効性を高めるための技術導入は？

答 衛星技術やAI等の新技術の活用を進めるとともに、限られた財源の中で効率的な維持管理に努める。

小中学校の維持管理と今後の在り方について

問 着衣水泳を全校で計画的に実施する方針は？

答 水泳授業は、まず命を守る基本泳法・背浮きを習得。それを経て、天候等の影響はあるが、重要性を踏まえ、工夫して実施できるよう努めていく。

問 学校プールの維持管理の今後の考え方は？

答 民間施設活用や委託による運営も視野に入れ、費用対効果の面から見直す時期を迎えている。

問 学校プール維持費をどう捉えているか？

答 一校あたり年間約百万円は適切な水準と認識。現行体制の維持も選択肢の一つとして検討する。



藤新会
植田 裕明 議員



本市のこれからの観光施策について

問 インバウンドの状況と基本的な考えは？

答 コロナ後、インバウンドも順調で、昨年度は、前年比一三二%、二万一千人の外国人訪問客があった。清水港の寄港などを絶好の機会と捉え、関係機関に売り込んでゆく。

問 本年は藤枝大祭と朝比奈大龍勢が重なる年だが、いかに観光施策として活かすか

答 藤枝の名を知らしめ、都市ブランドを一段と高める絶好の機会と考えている。



詐欺対策について

問 最近の傾向と特徴は？

答 本年一月から四月末まで特殊詐欺、SNS型詐欺ともに前年比で増えており、特殊詐欺で億二千万円、SNS型詐欺で四千万円増となっている。

問 金融機関の振込額制限がある中、多額の被害額がだましとられる要因にインターネットバンキングの悪用があると考えますが、当局の考えは？

答 インターネットバンキングは、周りが被害に気付きにくく被害額も拡大してしまうため、警察に加え金融機関とも連携し、啓発に努める。



藤のまち未来
寺田亜記子 議員



エコノミックガーデニングの 深化について

問「エフドア」について伺う。

答 エコノミックガーデニング支援センターである「エフドア」は、創業支援に限らず、市内企業の販路拡大や新商品開発など、様々な相談に的確かつ丁寧に対応し、支援に繋げている。

問「H.A.L.E.バレー構想」への市内企業の関わりについて伺う。

答 本市の強みを生かした健康生活産業の創出を目指す構想は、中小企業の挑戦と成長の大きな機会になる。市内外企業が積極的に参画して貰うように意見交換会を行い、一緒にこの構想を進めていきたい。

口腔ケアで健康寿命を延ばすまちについて

問 幼少期からの正しい歯磨き習慣の定着について市内の学校での取り組みについて伺う。

答 授業や委員会活動を通じて習慣化を促進。中学生にも成長段階に応じた正しい歯磨き指導を行うよう校長会や養護教諭部会を通じて各校へ働きかけていく。子どもたちの健康意識が向上し、規則正しい生活習慣を身につけることができるよう、学びの場を確保していく。



議員のひとこと

藤枝でがんばる企業の声、そして子供たちの未来の健康、どちらも私たちのまちの宝です！



藤のまち未来
八木 勝 議員



ともに働き、ともに暮らす社会へ 外国人労働者との共生に向けて

問 外国人労働者の現状と今後の見通しは？

答 製造業・サービス業・建設業を中心に外国人労働者は増加傾向。令和9年施行予定の「育成就労制度」により、今後さらに増加が見込まれる。

問 就労・生活支援の具体策は？

答 生活ガイドブックや動画を多言語で提供。市の日本語講座は週1回開催。企業には「協力確認書」を通じて情報提供。

問 外国人雇用にかかる初期費用への支援策は？

答 市として企業訪問やアンケートに基づき、国・県への支援要望も含めた対応を検討していく。

問 外国人の住宅確保に向けた支援は？

答 保証人確保など課題あり。不動産業者への働きかけを進める。

問 行政手続きにおける支援体制は？

答 通訳ボランティアや多言語通訳システムを整備。マイナンバーを活用し、健康保険の喪失確認も可能。

問 防災時の支援体制は？

答 通訳支援やアプリ活用、企業に対して災害時マニュアルの策定を促す方針。

問 共生の今後の方向性は？

答 市民アンケートで「親しみを感じる」割合が前回調査から12%上昇。地域交流や関係団体との連携を進め、次期計画で施策を強化。



藤のまち未来
遠藤久仁雄 議員



学校での健康診断と 子どもの権利を考える

問 本市の健康診断に於ける脊柱検査について、検査の際の学校での配慮事項を伺う。

答 子どもは、成長期に脊柱や胸郭に変形が起こりやすく、脊柱側弯症などの早期発見・早期対応が重要であり、定期的に検査を実施している。文部科学省の通知に基づき、児童生徒が安心して受診できるよう配慮している。

問 学校での内科検診や歯科検診等を、不登校などの理由で受診できなかった子どもが、後日学校医の所へ行って、検診してもらった時、保護者の費用負担はあるのか伺う。

答 後日、自身が通っている学校の学校医で受診すれば、費用は掛からない。

問 では、自分の通っている学校以外の学校医で受診した時、市からの支援は如何か伺う。

答 他の学校医を受診する場合は、1科目、3300円の費用が掛かる。これは初診料程度の金額であり、志太医師会と藤枝歯科医師会との協議の中で決めている。その自己負担額に対し、市は半額の1650円の支援を行う。

問 この場合の受診期間は、いつまでになるのか伺う。

答 7月から9月末までとなる。

議員のひとこと

子どもたちが健康に生きる権利、医療にアクセスできる権利を保障するもので、藤枝市が県内で初めて行うこの取組を評価いたします。



藤のまち未来
増田 克彦 議員



エシカル消費の推進について

問 藤枝市としてエシカル消費をどのように定義・位置づけているのか、市としての基本的な考え方を伺う。

答 市民の皆様により身近な藤枝ローカルSDGsを設定し、「優しい環境」、「力強い経済」、「安全安心な社会」の「三方良し」の持続可能なまちづくりに向け、各種施策を実施しているところであり、その一環として、エシカル消費はこの理念と深く関連する重要な取組の一つであると考えている。

問 市民に対するエシカル消費の啓発活動は現在どのように行っているか伺う。

答 本市では「環境フェスタ」と「消費者フェア」を合同で開催しており、本年度は5月に実施し、地元産の規格外野菜のプレゼントやフードドライブ、給食残渣から作った堆肥やエシカル消費推進の啓発グッズの配布、端材を使った小物づくりなど、多くの来場者に情報提供や体験の機会を提供した。

問 フェアトレードに対して今後どのように取り組むか伺う。

答 フェアトレードの意義などについて、ホームページや講演会、イベントなどを通じて情報提供、啓発し、市民がフェアトレードに関心を持つきっかけづくりを行い、フェアトレードが広く浸透するよう努めていく。



フェアトレード認証マークの付いたコーヒー豆



藤新会
藪崎 正幸 議員



都市計画道路焼津岡部線の重要性について

問 内谷工業用地が出来ることで焼津岡部線の開通はないのか？

答 内谷工業用地の造成時には1日100台程度の大型ダンプが通る予定。完成後も来る進出によつてだが通勤及び物流等においてかなりの交通量の増加が見込まれる。しかし現在は工業用地回りのみの開通予定である。

問 この周辺は以前から抜け道化していて、交通集中による安全面の問題等が住民から出ているが周辺住民への周知と対策は？

答 令和4、5年に行った周辺住民への説明とワークショップを今後も必要に応じて行い理解を得る

藤枝市内における鳥獣害対策は

問 本市での近年の鳥獣害を市はどのように把握しているのか？またその対策は？

答 本市では近年過去にあまりなかった猿、ニホンジカ、カモシカの被害が拡大している。対策として猿にはGPSをつけまた大型の農での捕獲をしている。ニホンジカ、カモシカには電気柵や防護柵購入の補助を出し対応している。

問 両隣の静岡市、島田市のように天然記念物であるカモシカを捕獲する事は出来ないか？

答 カモシカの捕獲には、県の承認に必要な管理計画を策定し、早急にカモシカ捕獲に向けて動き出します。



日本共産党
石井 通春 議員



高すぎる国保税の減免を

問 所得300万円の4人家族で、年間の国保税額が39万6千円。高いと思うか、安いと思うか。

答 高いと感じている人は多い。

問 所得の1割以上の税負担は過酷だ。市の滞納世帯の8割から9割が所得300万円以下。払いたくても払えない証ではないか

答 300万円以下、以上、いずれも未納率は5%程度、一概に言えない。

問 300万円以下の未納世帯数が849世帯あるのをどう考えているのか。税高騰に苦しむ市民の立場ではない。わずかな財源で子どもの均等割り減免は実施可能はずだ。

答 効果はあるが、恒常的な財源が必要であり、公平性の観点からも疑義がある。

所得段階	未納世帯数	※短期・資格証世帯数
	976円	284円
300万円以下世帯	849円	262円
300万円以下割合	86%	92%

※保険税未納の為、正規保険証が発行されていない世帯
(令和5年度実績)

高洲南小学校校区へ地区交流センター

問 南小は大洲、広幡などと比べ児童数が多いながら、交流センターは高洲小学区にあるのみ、自治会からも要望が出ている。

答 様々な視点に基づき、総合的に検討していく事が重要。

問 南小周辺は子どもの遊び場がない。交流センターを作れば、施設内に児童館の併用開設も可能。学童待機児解消にもつながり、整備には様々な利点があるはず。

答 地域の意向も承知しているため、今後検討していきたい。



藤のまち未来
川島美希子 議員



発達に課題のある子ども達の さらなる支援の強化を

問 本市は保育加算に加え市独自に障害児、発達に課題のある園児の保育を行う施設の財政支援を昨年拡大。本年度は発達支援研修センターができ、注目されているが、今後の方向性は。

答 早期発見に取り組むことで「こどもにやさしいまち」の実現を目指す。

問 医療的ケアを行う看護師を民間園に求めます

答 公立園に3名配置。今後は民間園でも安全に受け入れる体制と国の補助も活用し検討していく。

問 放課後等デイサービスの支援の公平・平等性は

答 希望する児童数も増加し、待機も出ているため、公平性に欠けている点が課題となっていた。こども発達支援課に窓口を本化し、新しい基準の徹底と推進を図る。

問 校内教育支援センター（登校支援教室）は小学校に2校、さらに今年度4校増え6校に増加しましたが、その成果は



答 登録児童数は28名でそのうち7名が通常教室に復帰。部屋には体を動かして遊べる器具も設置したり、居心地の良い環境づくりに努めている。

問 藤の子教室のある勤労青少年ホームは空きがある、子ども目線の不登校対策施設としてはどうか

議員のひとこと

ハンディのあることは個性と理解し、すべての子供が幸せを感じられる藤枝市を目指してほしい。



藤のまち未来
岡村 好男 議員



第六次総合計画の進捗と 後期計画に向けて

問 土地利用について、戦略的かつ柔軟に進めるとのことだが、前期の実績について伺う。

答 若者や女性が活躍できるまちづくりを目指すし、これまで、駅北地区で進める2つの再開発事業や市内5地区で優良田園住宅制度を展開している。南部地区の中でも大洲地区では、本年三月末時点で80件余の計画を認定した。また、昨年度、定住人口と地域の持続力を確保していくため、「土地利用誘導地区」を選定し、調査・分析を行い、その先導施策として高岡地区で都市計画法第34条11号に基づく住宅立地の規制緩和を進め、令和8年4月の条例施行を目指し、県などと協議を行っている。



問 後期計画の具体の進め方について伺う。

答 市内全地区で開催予定のまちづくり会議で市民と対話し、またこども若者会議での若い世代の声も聴取していく。

議員のひとこと

市街地調整区域の弾力的な運用については多くの市民が待ち望んでいます。期待します。



公明党
大石 保幸 議員



難聴予防と軟骨伝導による 聴覚補助具の活用について

問 難聴は認知症の要因の一つだが、予防への取り組みと聴覚補助具である「軟骨伝導イヤホン」の活用について伺う。

答 保健師などが高齢者の聞こえの相談に応じているが、現在、志太医師会と協力し、「聞こえのチェックリスト」の作成を進めている。「軟骨伝導イヤホン」については、試験的に導入し、本格導入に向けて検証を進めていく。

教育に関する取り組みについて

問 昨年6月議会で、学校以外での児童生徒の健康診断の受診体制の整備について質問したが、その後の状況を伺う。

答 昨年の質問以降、医師会や歯科医師会等と協議を重ね7月から県内初の支援策として、学校での健診を受診できなかった児童生徒が、通っている学校の学校医や他の学校の学校医の医療機関でも受診できる体制を整えた。



議員のひとこと

学校以外での健診体制の整備については、志太医師会をはじめ関係者の皆様に紙面をお借りして感謝を申し上げます。



藤新会
大石 心平 議員



消防団の活動となり手不足について

問 令和4年の団員数558名・充足率92・2%に対し現在までの推移と傾向を伺う。

答 本年度当初の団員数は537名・充足率は88・8%であり、近隣2市と比べ高くはあるが減少傾向である。

問 現行の準中型自動車運転免許取得事業費補助制度について条件を「普通免許所持者」から「運転免許未所持者」へ緩和する考えはないか伺う。

答 協調補助をしている県消防協会とも協議し、条件や補助額の見直しを進める。運転免許未所持者への対応も検討する。

問 学生消防団活動認証制度の周知の方法、就職時の活用について伺う。

答 周知については入団時に本人への直接説明を行っているが、今後は大学等にチラシ配布や説明など幅広く周知していきたい。制度の活用については、消防団協力事業所や市内企業へ周知をしていきたいと考えている。



議員のひらき

消防団活動は共助の要の一つ。その必要性和活動について多くの市民にご理解頂ける事を望みます。地域コミュニティの希薄化は災害時の弱みとなり得ます。



藤新会
山川 智己 議員



藤枝市新産業創造プランについて

問 新たな基幹産業となる「健康生活産業」の現状と将来性における本市の考え方について

答 「健康生活産業」とは、本市の強みである食と農・健康・医療の分野を結び付けた新たな産業を確立するにあたり、本市独自で付けた名称である。その中でも、いわゆるヘルスケア分野は、世界的にマーケットが飛躍的に拡大する成長分野である。市内企業の皆様や革新的な技術・サービスを生み出すスタートアップと連携し、本市から新たな価値を生み出し、力強く持続可能な産業を築き上げていく。

問 県による事業との連携について

答 県には、「医療田園都市構想」や「静岡ウェルネスプロジェクト」といった大きな取り組みがある。本プランにおける本市の具体的なプロジェクトである「藤枝市H.A.L.E(ハレ)バレー構想」を、新たに中部エリアでの展開を進める県の取り組みと一体的に進め、相乗効果を高めるようプロジェクト推進会議を立ち上げたところであり、県との強力な連携のもと実効性を確保していく。

議員のひらき

人口減少、少子高齢化の影響は全国どここの自治体にも及んでいきます。企業等と呼び込むだけではなく新たな産業を生み出すことで、若者や子どもたち、これから生まれてくる世代に向けて大きな花を咲かせるために今から種をまきましょう！

議員研修会を開催しました

●令和7年度 第1回 藤枝市議会議員研修会

日 時：令和7年6月25日(水) 午後1時15分～2時15分

会 場：市役所西館5階 第3・4委員会室

テーマ：『iPad活用のヒントとトラブルシューティング+α
～デジタル時代の議員活動～』

講 師：藤枝市企画創生部 情報デジタル推進課

課長 田中 範明 氏



令和7年6月25日(水) 本市情報デジタル推進課長による、『iPad活用のヒントとトラブルシューティング+α～デジタル時代の議員活動～』と題し、現在藤枝市議会で導入しているiPadの活用について実践を交えた研修会を開催しました。基本操作の復習から、事前アンケートで確認された課題に対し、iPadの機能を活用した解決方法を、実際に体験することで議員活動の質の向上に繋がる貴重な機会となりました。

9 月市議会定例月議会

9月定例月議会は、9月1日から10月2日までの32日間で開かれる予定です。

9月 1日 本会議1日目(☆)
議案上程等
9日 本会議2日目(☆)
一般質問
10日 本会議3日目(☆)
一般質問
11日 本会議4日目(☆)
一般質問・議案質疑等
12日 現地審査

16日 決算委員会①
17日 決算委員会②
18日 決算委員会③
19日 常任委員会
22日 決算委員会④
24日 決算委員会⑤
10月 2日 本会議5日目・
採決等(☆)



☆は、ホームページでもご覧いただけます。

本会議、委員会は予約なしで傍聴可能です。

常任委員会審査レポート

ピックアップ!

総務委員会

現地調査

ふじえだ陶芸村構想拠点施設について

陶芸・芸術を活かし中山間地域の活性化を目指す「ふじえだ陶芸村構想」の中核を担うふじえだ陶芸村拠点施設(新陶芸センター・道の駅)の建築工事が完了したため、現地調査を実施しました。今年度は造成工事が行われ、グランドオープンは令和8年4月を予定しています。



健康福祉教育委員会

現地調査

令和7年4月に開園した市立みわ保育園(併記名称:藤枝市発達支援研修センター)の現地調査を実施しました。こどもの健やかな成長と保育環境の向上につなげることに加え、市内の保育者の資質向上を図る研修の場、個別の配慮が必要な子どもへの支援の場、有事の際の乳幼児や妊婦の利用する福祉避難所として活用できる施設として整備されておりました。

建設経済環境委員会

第55号議案 市道路線の認定について

令和3年8月19日から令和6年10月10日の地すべりにより被災し、令和6年12月に災害査定を受けた市道7地区155号線について、現地を確認。災害復旧工事を実施するにあたり、令和7年4月22日、等級指定型一般競争入札(総合評価落札方式)に付した建設工事について請負契約を締結するため、委員会として可決すべきものと決定しました。

本会議
可決

